

「生命のがん教育」を実施しました

(令和3年度2学期分)

令和3年度2学期は34校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(相楽東部広域連合立笠置小学校)



(綾部市立八田中学校)



(京都府立京都八幡高等学校 北キャンパス)

◎小学校 (5校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
10/4 (月)	相楽東部広域連合立笠置小学校	6	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
10/29 (金)	宇治市立西大久保小学校	6	宇治徳洲会病院 肝胆膵外科部長 野見 武男
12/13 (月)	一燈園小学校	6	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
12/17 (金)	木津川市立恭仁小学校	5、6	京都山城総合医療センター がん診療部長兼化学療法部長 小池 浩志
12/17 (金)	亀岡市立詳徳小学校	6	三菱京都病院 院長補佐 吉岡 亮

<児童の感想>

- ◇ 「がん」は、必ずできないようにすることはできないと分かりました。健康診断とがん検診は内容が違うから、どちらも受けた方が良く分かりました。
- ◇ がんは自分達が思っているよりも、怖くて治りにくい病気であることが分かりました。それにがんができる場所によって、体の変化が分かりにくいことがあるので、できるだけがんにかからないように、規則正しい生活をしようと思います。
- ◇ お話を聞いて、がんの怖さを知りました。けど、ちゃんと予防することはできるんだなと思いました。お母さんもお父さんも定期的に診断に行っているのだから、自分も大きくなったらちゃんと行こうと思います。
- ◇ 僕は、お医者様になろうかなと思います。自分がなったら、「がん」を治せるのではないのでしょうか。しかし道のりは険しいでしょう。ですが、きっとします。必ず。
- ◇ がん検診は「がん」の症状がある前に受けた方がいいということを伝えようと思いました。自分も将来がん検診を受けようと思います。

◎中学校（17校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
10/12（火）	京丹後市立丹後中学校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/12（火）	京丹後市立弥栄中学校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/13（水）	綾部市立八田中学校	全	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
10/19（火）	京丹後市立久美浜中学校	3	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科医長 内藤 慶
10/21（木）	京都市立高野中学校	1	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 武藤 倫弘
10/21（木）	京都市立衣笠中学校	2	京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 武藤 倫弘
10/22（金）	舞鶴市立城北中学校	3	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 外科医長 崔 聡仁
10/25（月）	京丹後市立網野中学校	3	京都府立医科大学附属北部医療センター 診療部長 堅田 和弘
10/29（金）	木津川市立木津第二中学校	1、2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
11/1（月）	宮津市立宮津中学校	2	京都府立医科大学附属北部医療センター 泌尿器科 医長 石田 博万
11/5（金）	舞鶴市立加佐中学校	2	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 外科医長 崔 聡仁
11/29（月）	舞鶴市立城南中学校	3	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
11/30（火）	舞鶴市立白糸中学校	3	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
11/30（火）	舞鶴市立青葉中学校	3	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 小児科医長 金山 拓誉
12/1（水）	京都市立蜂ヶ岡中学校	2	京都市立病院 消化器内科・腫瘍内科 医長 宮川 昌巳
12/2（木）	舞鶴市立和田中学校	3	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 小児科医長 金山 拓誉
12/10（金）	舞鶴市立若浦中学校	3	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 外科医長 崔 聡仁

<生徒の感想>

- ☆ 「がん」を100%予防することはできないが、たばこを吸わない、飲酒をしすぎない、ワクチンを打つなどをする事で「がん」になりにくくなるということが分かりました。また、自分の日常生活を当たり前と思わず一日一日を大切に生きてみたいです。
- ☆ 私のおばあちゃんも健康には自信があったけど胃がんで亡くなってしまったので、私は小学生だったけど何か助けられたらよかったなと思いました。今は家族とおじいちゃん達がいるので、周りの人たちをできるだけ助けられるように、今回学んだことなどを活かしていきたいです。
- ☆ 家族の1人が肺がんになってしまったこともあり、とても「がん」というものはどういふものなのかということを知っていました。ですが今日の先生方のお話を聞いて、「がん」について改めて詳しく知れたし、入

院生活など自分がもし「がん」になったらなど、いろいろ考えました。

◎高等学校（12校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9/17（金）	京都廣学館高等学校	1	京都山城総合医療センター がん診療部長兼化学療法部長 小池 浩志
10/8（金）	京都府立京都八幡高等学校 北キャンパス	1	社会医療法人 岡本病院（財団） 京都岡本記念病院 消化器内科 副部長 中瀬 浩二郎
10/19（火）	京都府立京都八幡高等学校 南キャンパス	1	社会医療法人 岡本病院（財団） 京都岡本記念病院 消化器内科 主任部長 宮田 正午
10/20（水）	京都市立紫野高等学校	1	京都大学医学部附属病院 放射線治療科 講師 吉村 通央
10/27（水）	京都府立綾部高等学校	1	綾部市立病院 外科医長 高尾 幸司
11/12（金）	京都府立大江高等学校	3	市立福知山市民病院 副診療部長 川上 定男
11/21（日）	京都府立西舞鶴高等学校 通信制課程	全	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
11/26（金）	京都府立清新高等学校	1、2	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
11/26（金）	京都府立峰山高等学校弥栄分校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
11/30（火）	京都市立京都奏和高等学校	1	京都第一赤十字病院 臨床腫瘍部 部長 内匠 千恵子
12/15（水）	京都府立乙訓高等学校	1	社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院 消化器内科 部長 大野 智之
12/15（水）	京都府立盲学校	1、2	京都府健康福祉部健康対策課 技師 中村 寛子

<生徒の感想>

- ◇ 祖父が、「がん」でなくなった時、私はまだ小さかったのでよく分かっていなかったけど、もう会えなくなるというのが分かっていて、今考えると日常って当たり前じゃないんだと思います。「がん」という病気は完璧に予防することはできないけど、少しでもなりにくくするために生活を改めたいと思いました。
- ◇ ピロリ菌が胃の中にいると胃がんになってしまうので、しっかりと検査をして健康に気をつけていきたいと思いました。また、肺がんにならないために受動喫煙にも気をつけていきたいと思いました。また、なっても早期発見・治療をするために日頃からの検査が大切だと思いました。
- ◇ 私の祖母と祖父は「がん」で亡くなり、とても辛い思いをしたので、家族が将来同じ事にならないように皆で声かけをして検査を受けるようにします。また、生活が乱れているので見直し、今できる対策をするようにします。
- ◇ 今まで、誰がたばこを吸っても、酒を飲んでもどうでも良かったけど、これからは自分の事のように大切にしてもらってやめてもらいたいと思います。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp